

研究課題名	グラム陰性桿菌血流感染症患者における抗菌薬選択と予後の影響に関する研究
研究責任者(職名)	薬剤部・感染制御部 才郷 博久
実施責任者(職名)	薬剤部・感染制御部 才郷 博久
研究期間	臨床研究倫理審査委員会 承認後 ～ 2025 年 12 月 31 日
研究目的と意義	患者さんの血液から細菌が検出される血流感染症は、できるだけ早く適切な抗菌薬を投与することが患者さんの予後において重要となります。薬剤部・感染制御部では、血液から細菌が検出された際の抗菌薬と予後の関連性を調べるための研究を行っています。この研究結果によっては、抗菌薬を投与する患者さんの予後の改善につながる可能性があると考えております。 この研究目的、研究方法は当院の倫理委員会です。患者さんの診療録や検査データを用いて解析を行います。個人名、住所などは全て完全に匿名化され、個人を特定することは不可能となっており、患者さんご自身に不利益が及ぶことはありません。 今後、血流感染症で抗菌薬治療を受ける多くの患者さんの将来の利益のために行われる研究ですので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
研究内容	●対象となる患者さま 永寿総合病院にて血液培養検査をされた方 約300例 ●利用する情報 上記調査対象の方の診療録から、血液検査データ、薬剤投与状況を中心にカルテ調査を行います。
問い合わせ先	【研究担当者】 才郷 博久